

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	小児科救急医療病院群輪番制事業	所管	保健福祉部 母子保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	夜間及び休日・祝日の小児の救急患者の医療体制を確保するため。
------------------------	--------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市・狭山市・入間市の市民のうち小児を対象とする。	対象とした数	86,134	人
		実際に 利用した数	2,560	人

活動の内容	(何を したか)	所沢市、狭山市、入間市及び、協力医療機関(2病院)による協定書に基づき実施。 受入医療機関・・・入間川病院<火曜日・水曜日>、西埼玉中央病院<木曜日> 診療時間は、夜間が午後6時～翌朝朝8時。休日昼間が午前8時～午後6時。							
活動実績	項目名	診療計画日数	438	項目名	診療実施日数	161	項目名	単位	単位
			----- 単位 日			----- 単位 日			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	3,867	839	3,094	9.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	診療実施率	診療実施日数÷診療計画日数	438	161	36.8
			----- 単位 日	----- 単位 日	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止			
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了							
		* 拡充 縮小 統合		改善・効率化		改善余地なし		その他〔 〕 終了	
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040800	ℓ	2991-1811
事業コード	小児科救急医療病院群輪番制事業					
040821	保健福祉部 母子保健課					
開始年度		平成 12 年度	→	終了年度	平成 年度	
		グループ	健康管理グループ			

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	埼玉県地域保健医療計画			小児救急医療施設運営費補助金交付要綱				
	関連・類似事業	所沢地区病院群輪番制病院運営事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	3 地域医療の充実	小柱	(1)地域医療体制の整備
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 A					
事業開始の背景	乳幼児は、病状が急変することもあり、小児科特有の疾病も多いことなどから、小児科医師による診察が望ましいとの声が数多く寄せられ、これを受けて小児を対象として平成12年度より開始された事業である。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	夜間及び休日・祝日の小児の救急患者の医療体制を確保するため。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	所沢市・狭山市・入間市の市民のうち小児を対象とする。			利用数の考え方	受診者				
	対象数	単位	平成 18 年度	86,636	人	利用数	単位	平成 18 年度	7,316	人
			平成 19 年度	86,134	人			平成 19 年度	2,560	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	所沢市、狭山市、入間市及び、協力医療機関(2病院)による協定書に基づき実施。 受入医療機関…入間川病院<火曜日・水曜日>、西埼玉中央病院<木曜日> 診療時間は、夜間が午後6時～翌朝朝8時。休日昼間が午前8時～午後6時。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	改善点	平成19年度中に改善した点 ・小児救急医療体制の再構築に向け、所沢保健所を中心とする3市(所沢市・狭山市・入間市)による検討チームを発足させ、小児の初期救急・二次救急医療体制の再構築に向けた検討を開始した。 ・平成19年6月から埼玉県が開始した「埼玉県小児救急電話相談」について、広報とろざわ、ホームページに掲載するとともに、市内の幼稚園、保育園にポスターを掲示し保護者等への周知に努めた。 ・各家庭で簡単な応急手当に対応できるように子供の応急手当冊子を生後3ヶ月の乳児のいる家庭に配布した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		3,515	3,867	896
	決算(見込み含む)		3,199	839	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.24 人	2,208	0.24 人	2,255
	公費費				
	事業費合計		5,407	3,094	
	財源内訳	一般財源	5,407	3,094	896
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		16.0	9.1	
	利用者一単位あたり(単位:円)		739.1	1,208.4	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	診療計画日数	夜間(365日)+休日昼間(日曜・祝日・振替休日・年末年始)	日	436	438	437	
		診療実施日数		日	367	161	165	
	成果分析	診療実施率	診療実施日数÷診療計画日数	日	目標値	436	438	437
				実績	367	161	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
%				達成率	84.2	36.8		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要性なし	所沢市	見直しの必要性	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	日月金土曜日の担当病院が決まっておらず、当事業運営に支障をきたしており、一刻も早く担当病院を確保することが必要である。又、当事業は二次救急(入院等を必要とする)であるが、利用する多くの患者が、初期救急(軽症の)患者であるとの報告も受けており、今後は初期救急医療体制(特に深夜時間帯)を充実させる必要がある。				
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
平成20年度における目標設定	小児の二次救急医療輪番体制の機能を回復する	3市の初期救急医療の整備・充実を図る	平成21年3月		
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	小児診療は、診療に手間がかかり、採算性も低いことなどの理由から小児科医不足は全国的にも問題化しており、特に夜間、休日には十分な救急医療体制を組むのが困難な状況にある。しかし、夜間・休日に受診する患者数は増加しており、救急医療の必要性はますます高まっていく傾向にある。深夜・休日に、より近い病院で適切な診療が受けられるよう当該事業の継続が必要である。				
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	母子保健課長 小林昌治		

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 1 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
評価理由	小児医療不足が社会問題となっている今、清瀬小児病院の移転が平成21年度末に迫っていることは、市民にとり大きな不安要素である。特に夜間における二次救急は現在週3日を確保するのみであり、喫緊の課題である。本事業は初期救急とセットで検討を進める必要があることから、保健所への積極的働きかけはもちろん、入間市・狭山市との連携を深めつつ、早い時期での医療体制の充実に取り組む必要がある。					
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	3211
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります		
	主要課題	2子育てに快適な環境づくり		
施策の方向	1小児医療事業の充実			